

登録コード	HM118800	開講年度	2026				
授業題目	産科婦人科特別研究					担当教員	宮本 強 他
英文授業名	Research Thesis in Methods for Obstetrics and Gynecology					副担当	小原 久典・浅香 亮一
単位数	10	講義期間	不定期	曜日・時限	集中・不定期	対象学生	博士課程 産科婦人科学専攻
講義室				授業形態	演習	備考	
信大コンピテンシー	該当						
(1)授業の達成目標/Course objectives	ディプロマポリシー・授業で得られる「学位授与の方針」要素					⇔	(授業の達成目標)
	2026HM医学分野初, 2025HM医学分野初, 2024HM医学分野初, 2023HM医学分野初						
	【専攻】医学・保健学研究の専門分野近傍の課題に対して新たな知見・技術を生み出す応用力					⇔	研究計画の立案・遂行
(2)詳細/Detailed information	産科婦人科学分野における研究の最先端の情報を理解し、研究テーマの設定、研究計画の立案・実践、論文作成をできるようになる。						
(3)授業の概要/Overview of course	産科婦人科学分野における研究テーマの選定方法や研究方法を、実際に研究を進めながら、論文の作成まで実践的に指導する。						
(4)授業計画/Course plan	産科婦人科学領域の最先端の情報の提供、研究の社会的背景、研究の社会的必要性などにも続いて、基本的な研究テーマの提案と、そのために何を明らかにすべきかについての指導を行う。（担当：宮本） 上記の研究テーマおよび目標遂行のために、実際の研究計画の立案、そのために必要な実験サンプルや実験手法の実践的指導を行う。また実験結果の解析方法、および解釈、それによる実験計画の修正等についても指導を行う。（担当：小原、浅香） 以上より得られた研究結果を研究テーマに沿って、論文にまとめる指導を行う。（担当：宮本）						
(5)成績評価の方法・基準/Grading/evaluation method/evaluation criteria	成績評価の方法：毎週月曜日に研究状況の評価を行う。またその際には、研究の修正点等についても適宜チェックしていく。 成績評価の基準：(i) 問題の設定が適切であり、(ii) その問題の背景を説明できており、(iii) その問題にどのような課題があるのかを指摘できており、(iv) それらの課題に対して既存の学説が提示する解決法が適切に把握できており、(v) その上で自分の見解を提示できており、かつ、教員を感心させるレベルにあれば「卓越している（秀）」。(i) から (v)の5項目を満たしていれば「かなり上にある（優）」。4項目までできていれば「やや上にある（良）」。3項目までできていれば「水準にある(可)」。						
(6)履修上の注意・事前事後学習の内容・テキスト・教材・参考書/Notes/Prep and review work/Textbook(s)/Reference work(s)	教科書は特になし。						
(7)質問,相談への対応/Questions and requests for advice	質問・相談に対しては、主に口頭でおこなうが、文書（電子メールなど）も利用し、適宜、対応する。						
(8)授業の形式/Course format	実際の研究を通した実習形式で行い、適宜、論文作成等を指導していく。						